

尚志 男子 4連覇



4連覇を果たした尚志イレブン。十六日、富岡サッカー場

サッカー

男子V3位決定戦
(十六日、富岡サッカー場)

福島工一	0	0	0
尚志	1	1	0
長一	0	0	0
聖光学院	0	0	0

V決勝 (PK8-7)

尚志	1	0	0	0
延	0	1	0	0
長	0	0	1	0
富岡	0	0	0	2

富岡3 1 2 0 2 鹿城桜が

今年も延長で富岡撃破

尚志が延長までもつれたライバル対決を制して4連覇。昨年、に続き延長で富岡を下し、インターハイ出場を決めた。殊勲の決勝ゴールを決めたのは、後半28分から途中出場したFW田鹿富夢(3年)。延長前半一分、FW林純平(2年)からパスを受け、左サイドから速やかなシュート。左足のアウトサイドで蹴ったボールは大きく曲がり、ポストに接触しながらゴールに吸い込まれた。

「まさかあの場面で、あのシュートを決めるとはびっくりした。活躍を、直感で予感した。起用した仲村浩二監督も舌を巻く圧巻のゴールだった。田鹿は東京都出身。163センチ、ラシルに1カ月ほどサッカー留学も経験した。全国選手権で見せた尚志のサッカーに憧れ、門をたたいた田鹿は「尚志に入っ

尚志 田鹿が3決勝弾

良かった」と歓喜に浸った。チームは今季、悪循環が続いていた。参戦しているプリンスリーグでは5位の富岡を下回る8位。富岡との直接対決でも0-1で敗れた。リーグ戦で連敗が続いていた中で、優勝は選手自信を復活させた。主将の高藤汰(3年)は「他のチームでやっていない練習をやっていた。走り負けない自信があった。8連の記録を破りたい」と力強く語った。インターハイでの最高成績は2年前の8強。過去最多の部員120人が、全国舞台で新たな歴史をつくる。(紺野)